

# 令和3年度 一般会計決算附属資料

## 市長公室 主要な施策の成果

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	6,220千円	7,526千円	1,306千円	82.6 %		
	目	01 一般管理費				(参考)当初予算額	課	秘書広報広聴課
	事業	03 秘書・渉外事務				9,592千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		諸収入 京都市市長会担当課長会議交通費負担金 4千円					
目的	市長及び副市長の公務及び慶弔対応等の渉外業務を円滑に遂行する。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	<p>市長及び副市長の秘書・渉外業務を適正かつ円滑に行い、市政の円滑な運営を図るため、市長・副市長の出張経費、交際費、慶弔に係る経費等を支出した。なお、新年賀詞交歓会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、前年に引き続き中止とした。</p> <p>○市長・副市長等出張経費 3,257千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長・副市長及び職員出張旅費 835千円</li> <li>・会計年度任用職員（公用車運転手）任用経費 2,092千円</li> <li>・有料道路通行料等 281千円</li> <li>・自動車借上料、駐車場使用料 49千円</li> </ul> <p>○市長交際費 704千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長交際費（各種会費等7件） 48千円</li> <li>・弔慰金（21件） 656千円</li> </ul> <p>○公用車管理経費（2台分） 489千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 234千円</li> <li>・車検、洗車用品等 173千円</li> <li>・自動車損害保険料（任意共済保険） 82千円</li> </ul>		<p>○秘書事務経費 85千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務用品等 82千円</li> <li>・来客用お茶等 3千円</li> </ul> <p>○渉外事務経費 205千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐日米国臨時代理大使記念品、市長・副市長名刺等 205千円</li> </ul> <p>○負担金 1,480千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市長会負担金（全国、近畿、京都府） 1,350千円</li> <li>・北京都政経文化懇話会負担金 30千円</li> <li>・オリンピック・パラリンピック首長連合負担金 100千円</li> </ul>					
			成果・課題	市長及び副市長の秘書・渉外業務を適正かつ円滑に行うことで、市政の円滑な運営に資することができた。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	2,025千円	2,040千円	15千円	99.2 %		
	目	01 一般管理費				(参考)当初予算額	課	秘書広報広聴課
	事業	07 市ホームページ運用管理事業				1,820千円		
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		諸収入	有料広告収入	220千円			
目的	市ホームページを活用し、市政情報や暮らしの情報、災害情報、新型コロナウイルス感染症対策情報、子育て情報、移住・定住情報、観光・イベント情報、企業・事業主向け情報などを提供し、市民の利便性の向上や市民参画の推進、移住や観光による交流人口の増加を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	<p>市民サービスの向上や市民参画の推進、移住や観光による交流人口の増加を図るためのホームページの管理に係る経費を支出した。</p> <p>○ホームページ管理経費 2,025千円</p> <p>【管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ運用保守管理年間経費 1,802千円</li> <li>・ホームページ改修経費 220千円</li> </ul> <p>【事務経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費（教本ほか） 3千円</li> </ul>							
	成果・課題	<p>○安定したホームページの管理・運用を行うことができた。</p> <p>○ホームページのトップページに職員採用サイトへのリンクボタンを設置するなど、情報を見つけやすいホームページへの改善を図ることができた。</p> <p>○ホームページの発信力を高めるため、積極的な更新や掲載を心掛けるなど、より利便性の高いホームページづくりを図る必要がある。</p>						

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室						
	項	01 総務管理費							219千円	303千円	84千円	(参考)当初予算額	課	秘書広報広聴課
	目	01 一般管理費												
	事業	08 功労者表彰等事務												
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源											
目的	市表彰条例等に基づき、自治功労者等審査委員会の開催、表彰の実施など、適正な表彰事務を行い、被表彰者の功績をたたえる。													
主要な事務・事業の概要	<p>自治功労者等の被表彰者を選考するための自治功労者等審査委員会の開催経費及び市制記念日における表彰経費を支出した。</p> <p>○自治功労者等審査会開催経費（1回開催） 31千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員報酬（委員7人分）4,000円/回 28千円</li> <li>・費用弁償 3千円</li> </ul> <p>○自治功労者等表彰経費 188千円</p> <p>表彰者：功績者9人、善行者5人・1団体</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰記念品 157千円</li> <li>・表彰用品等 31千円</li> </ul> <p>※自治功労者等の表彰については、市表彰条例第10条の規定により、原則、市制記念日に実施している。（令和4年4月1日実施）</p>													
	成果・課題	表彰事務を適正かつ円滑に行うことにより、自治功労者等を選考し、その功績をたたえることができた。												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 5,826千円	最終予算額 6,114千円	不用額 288千円	執行率 95.2 % (参考)当初予算額 4,896千円	部	市長公室	
	項	01 総務管理費						課	人事課
	目	02 職員管理費					諸収入 公舎使用料負担金		444千円
	事業	01 人事給与事務							

基本計画 30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）

目的 職員の人事管理及び給与事務を適正に行う。

主な財源

○一般事務経費 3,017千円

- 給与人事システムサポート負担金 1,555千円
- 特別職報酬等審議会（2回、4人）報酬等 27千円
- 公務災害補償等認定委員会（1回、4人）報酬等 17千円
- ハラスメント防止委員会（1回、4人）委員謝金等 94千円
- 参考図書、消耗品、職員旅費等 312千円
- 公舎借上経費 1,012千円

○職員採用経費 2,700千円

- 採用試験採点委託料 511千円
- 募集チラシ新聞折込代（3回）等 341千円
- リクルーティングサイト制作委託料 1,848千円

※令和3年度職員採用試験実績 3回（7月、10月、1月）実施

・社会人募集 ※U・ターンを希望する市外在住者を対象とした募集  
年齢要件 31～40歳 (単位：人)

	一般事務	土木系技術	建築系技術	介護支援専門員	合計
応募	8	0	0	1	9
採用	0	0	0	0	0

・障害者募集  
応募者数（一般事務）：1人 採用者数：0人

○会計年度任用職員募集経費 109千円

- 募集チラシ新聞折込代（1回）等 109千円

主要な事務・事業の概要

・一般募集 (単位：人)

	一般事務	土木系技術	建築系技術	保健師	保育士・保育教諭	消防職員	合計
応募	107	0	2	1	10	24	144
採用	12	0	0	0	1	5	18

成果・課題

○職員募集にあたり、大学生が利用する求人掲載サイトの活用、就職フェアへの参加等に加え、リクルーティングサイト（職員採用専用サイト）を新設し、職員の声や仕事内容を紹介するなど、一緒に働く職員の思いを伝える情報発信を行い、受験者の確保につなげた。

○特に土木系・建築系技術職の採用が厳しく、職員募集及び採用試験の方法については、引き続き工夫していく必要がある。

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室					
	項	01 総務管理費							1,158千円	1,180千円	22千円	98.1 %	
	目	02 職員管理費											(参考)当初予算額
	事業	02 職員研修会事務											
課	人事課	126千円											
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		諸収入 京都市市町村職員等共同研修助成金										
目的	「職員人材育成基本方針」及び「職員研修計画」に基づき、職務の遂行に必要な知識・技能等を習得する研修を実施し、職員の行政運営能力の向上と質の高い行政サービスの提供を図る。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	○研修経費 1,158千円 ・市主催研修 966千円 受研者数（オンラインによる受研を含む） 延べ931人 新規採用職員研修（採用時・中間ほか）、新任管理・監督職（評価者）研修、人権研修、メンタルヘルス研修、財務会計研修、法制執務研修（例規システム・基礎）、SDGs研修、ナッジ研修ほか 【※eラーニング研修】 情報セキュリティ研修、個人情報保護研修、マイナンバー研修、サイバーセキュリティ研修		・派遣研修（他団体等が実施する研修） 192千円 受研者数（オンラインによる受研を含む） 延べ167人 京都市市町村振興協会主催研修（新規採用職員研修、法制執務の応用ほか）、北部7市職員合同研修（南丹市）、全国市町村国際文化研修所派遣研修、メンタルヘルス、ハラスメント、キャリアデザイン研修ほか 【eラーニング研修】 京都市市町村振興協会主催研修（法制執務研修、10年目職員研修、議会運営実務研修会、課長研修ほか） ※eラーニング研修：オンライン研修の1つで、静止画や動画などをインターネットを利用して受講者が一方的に視聴する研修										
	成果・課題	○新型コロナウイルス感染症感染防止のため、職員が会場に集合して行う研修については中止や延期、受研者数を限定しつつ、オンラインやeラーニング研修を積極的に活用し、必要な研修を行うことができた。 ○対面式とオンラインを合わせたハイブリット形式で研修を行うなど、引き続きコロナ禍の状況を踏まえた研修を実施する必要がある。											

予算科目	款	02 総務費	4,356千円	4,397千円	41千円	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費				99.0 %			
	目	02 職員管理費				(参考)当初予算額	課	人事課	
	事業	03 職員派遣研修事務				3,740千円			
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		諸収入	公舎使用料負担金	28千円				
目的	国、京都府等に職員を派遣し、政策立案過程や課題解決方法等を学ぶとともに、専門的かつ総合的な知識と技能の修得により、職員の資質を高める。		主な財源						
主要な事務・事業の概要	○国、京都府等での実務研修生に係る経費		4,356千円						
	・借上げ住居に係る費用（家賃、敷金、仲介手数料等）		3,490千円						
	・借上げ住居退去に係る費用		40千円						
	・職員の赴任・帰任に係る旅費等		826千円						
	※研修派遣先								
	派遣先		人数	職					
	文部科学省 初等中等教育局（R3年度～）		1人	教育総務課付 主任級					
中小企業庁 経営支援部 小規模企業振興課（R2年度～）		1人	商工振興課付 主任級						
京都府 商工労働観光部 染織・工芸課（R3年度～）		1人	商工振興課付 主任級						
泉佐野市 成長戦略室ふるさと創生課（R4年度～）		1人	政策企画課付 係長級						
日本国際博覧会協会 地域・観光部（R4年度～）		1人	商工振興課付 主任級						
成果・課題	○派遣先での実務経験を通して、より広い視野での政策の企画立案等、今後の業務に活かすことが期待できる。 ○他機関での実務研修や人材交流等は職員の資質向上・能力向上など、人材育成に有効であり、継続的に行っていく必要がある。								

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 8,336千円	最終予算額 8,397千円	不用額 61千円	執行率 99.2%	部 市長公室
	項	01 総務管理費					
	目	02 職員管理費				課 人事課	
	事業	04 福利厚生事務					

基本計画 30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）

目的 職員の健康管理の維持・増進と福利厚生を図り、公務の効率を高める。

主な財源

○定期健康診断・ストレスチェック 8,336千円

- ・定期健診委託料 7,489千円
- ・ストレスチェック委託料 590千円
- ・医師派遣委託料 240千円
- ・健診用消耗品等 17千円

主要な事務・事業の概要

	対象者	対象者数	受診者数			受診率
			巡回健診	人間ドック	合計	
定期健診	職員	1,027人	899人	128人	1,027人	100%
	会計年度任用職員等(病院を除く)	450人	407人	43人	450人	100%
ストレスチェック	職員	1,043人	—	—	1,043人	100%
	会計年度任用職員等(病院を含む)	593人	—	—	591人	99.7%

成果・課題

- 健康診断の受診方法や受診日、会場等を複数設定し受診率向上を図るとともに、職員衛生委員会で健康管理対策について検討し、職員の健康管理・保持につなげた。
- ストレスチェックを実施し、高ストレス者への対応を行うほか、健康診断結果による事後指導を実施し、職員自らの健康管理・保持についての意識を高めた。
- 精密検査未受診者への受診勧奨に引き続き取り組んでいく必要がある。

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 27,309千円	最終予算額 27,387千円	不用額 78千円	執行率	部 市長公室
	項	01 総務管理費				99.7%	
	目	02 職員管理費				(参考)当初予算額	
	事業	05 ふるさと創生職員制度推進事業				43,368千円	
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源				
目的	アフターコロナを展望した地方創生が求められる中、京丹後市に帰ってきたい、あるいは地方での暮らしと仕事をしたいと考えている方々の受け皿を創設し、Iターン・Uターンの活性化につなげ、任期終了後の定住促進につなげる。						
主要な事務・事業の概要	○ふるさと創生職員（任期付職員）任用経費 27,309千円 ・給料 14,599千円 ・職員手当（通勤、時間外勤務、期末勤勉手当） 4,749千円 ・共済費（社会保険料等） 3,028千円 ・補助金（住居手当相当分） 1,094千円 ・職員採用委託料 3,839千円 （広報戦略、Web募集、採用試験支援等）		※令和3年度ふるさと創生職員採用実績 ・応募者数 31人 ・採用者数 8人 ・業務分野及び採用月（参考：令和2年度採用者数 5人） ①「新観光地づくり」企画推進担当（令和3年11月採用） ②「山と海をつなぐ観光」企画推進担当（令和3年12月採用） ③2050年ゼロ・カーボンシティ推進担当（令和3年12月採用） ④「デザイン×産業振興」推進担当（令和4年2月採用） ⑤男女共同参画推進担当（令和4年2月採用） ⑥「産業×ICT」事業推進担当（令和4年3月採用） ⑦コミュニティデザイン推進担当（令和4年3月採用） ⑧地域ブランド創出推進担当（令和4年3月採用）				
			成果・課題 ○任期付短時間勤務で副業可能とした「ふるさと創生職員制度」は、Iターン・Uターン希望者等の雇用の受け皿を創出するとともに、地方公務員の新しい働き方として、働き方改革につながっている。 ○職員採用委託事業の中で、担当部局の職員が参加するオンラインの募集説明会を実施するなど、市が求める人物像のPRに努めた。 ○募集及び試験方法等を工夫しながら、引き続き市が求める人材の確保に努めていく必要がある。				

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	市長公室
	項	01 総務管理費	17,572千円	17,862千円	290千円	98.3 %						
	目	05 広報費				(参考)当初予算額						
	事業	01 広報広聴事業				18,082千円						
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）	295千円						
目的	広報紙の発行及びフェイスブックなどのSNSやコミュニティFM放送の活用により、市政情報等を効果的に発信し、市民の市政参加の推進及び市政情報の共有を図る。			府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）	148千円						
				府補	きょうと地域連携交付金（市政情報発信事業）	1,700千円						
				諸収入	広報郵送料負担金	86千円						
			諸収入	有料広告収入	891千円							
主要な事務・事業の概要	地域の出来事や市政情報を効果的に発信するため、広報紙等の発行及びSNSで発信する経費を支出した。			○京丹後コミュニティFM（FMたんご）放送委託料 4,530千円								
	○広報等発行関連経費 13,008千円			○負担金（会費） 34千円								
	・広報京丹後印刷製本代（年13回※発行） 6,699千円 ※うち1回分は別冊「新型コロナ対策支援策パンフレット」（5～12月号 20,850部、1～4月号 20,750部）			・日本広報協会会費 24千円								
	・おしらせ版印刷製本代（年12回発行） 3,672千円 （5～10月号 20,550部、11～4月号 20,450部）			・京都府広報協議会会費 10千円								
	・広報紙音訳データ作製委託料 1,018千円			※参考：京丹後市LINEの登録者数：2,508人								
	・LINEアプリ機能構築委託料 539千円			成果・課題 ○広報紙及びおしらせ版の発行、ホームページ、SNS、防災行政無線、コミュニティFMの活用により、市政情報等を市民へ広く発信することができた。 ○京丹後市LINEで、事前に登録した分野に関する欲しい情報だけを受け取れる仕組みを開始し、登録者の利便を向上することができた。								
	・広報紙編集用ソフトライセンス使用料 155千円											
	・インターネット回線使用料 71千円											
	・広報送料 453千円											
	・広報用資材・事務用品等経費 399千円											
	・普通旅費（取材） 2千円											

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							24,575千円	26,636千円	2,061千円	92.2 %
	目	08 庁舎管理費										(参考)当初予算額
	事業	02 大宮庁舎管理事業										23,933千円
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		使用料	公有財産使用料	3,038千円							
目的	大宮庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。		諸収入	公衆電話料	1千円			主な財源				
主要な事務・事業の概要	<p>行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。</p> <p>○庁舎維持管理経費 23,879千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガスほか） 10,551千円</li> <li>修繕料（庁舎小規模修繕） 1,284千円</li> <li>施設清掃委託料 954千円</li> <li>設備保守点検等委託料 1,710千円 （自家用電気工作物保安管理、自動ドア、エレベーターほか）</li> <li>宿直業務委託料（宿直1人） 2,938千円</li> <li>環境衛生管理委託料 1,562千円</li> <li>火災保険料（庁舎、車庫） 39千円</li> <li>工事請負費（自家発電設備、キュービクル） 4,673千円</li> <li>備品購入費（公印） 15千円</li> <li>その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか） 153千円</li> </ul>		<p>○公用車維持管理経費 591千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>燃料費、修繕料（3台） 450千円</li> <li>車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税） 63千円</li> <li>保険料（自動車損害保険料3台、自賠責保険料2台） 78千円</li> </ul> <p>○駐車場用地借上料（社協前職員駐車場 289㎡） 105千円</p>		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>24,595千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>		参考		繰越明許費を除いた最終予算額	24,595千円	実質的な予算執行率	99.9%
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	24,595千円										
	実質的な予算執行率	99.9%										
成果・課題	<p>○庁舎の適正な維持管理に努め、安心・安全のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。</p> <p>○庁舎及び公用車の老朽化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新を行う必要がある。</p>		<p>■令和4年度への繰越事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大宮庁舎エレベーター修繕工事（令和4年4月完了） 2,041千円</li> </ul>									

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																																							
	項	01 総務管理費							15,966千円	16,069千円	103千円	99.3 %																																			
	目	08 庁舎管理費										(参考)当初予算額																																			
	事業	03 網野庁舎管理事業										16,269千円																																			
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		使用料	公有財産使用料	164千円																																										
目的	網野庁舎及び網野健康福祉センターの円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車を適切に維持管理する。		主な財源	諸収入	網野庁舎光熱水費負担金	172千円																																									
				<p>行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○庁舎維持管理経費</td> <td>14,992千円</td> <td>○公用車維持管理経費</td> <td>974千円</td> </tr> <tr> <td>・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油ほか）</td> <td>5,283千円</td> <td>・燃料費、修繕料（4台）</td> <td>801千円</td> </tr> <tr> <td>・修繕料（庁舎維持補修等）</td> <td>590千円</td> <td>・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税）</td> <td>79千円</td> </tr> <tr> <td>・施設清掃委託料</td> <td>728千円</td> <td>・保険料（自動車損害保険料4台、自賠責保険料2台）</td> <td>94千円</td> </tr> <tr> <td>・設備維持管理費及び保守点検業務委託料（自家用電気工作物保安管理、空調機、エレベーターほか）</td> <td>1,476千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・除草作業委託料</td> <td>56千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・宿直業務委託料（宿直1人）</td> <td>2,938千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・デマンド監視業務委託料</td> <td>82千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PCB処理料（収集運搬委託料、処理手数料）</td> <td>3,604千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・火災保険料（庁舎、倉庫）</td> <td>28千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか）</td> <td>207千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				○庁舎維持管理経費	14,992千円	○公用車維持管理経費	974千円	・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油ほか）	5,283千円	・燃料費、修繕料（4台）	801千円	・修繕料（庁舎維持補修等）	590千円	・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税）	79千円	・施設清掃委託料	728千円	・保険料（自動車損害保険料4台、自賠責保険料2台）	94千円	・設備維持管理費及び保守点検業務委託料（自家用電気工作物保安管理、空調機、エレベーターほか）	1,476千円			・除草作業委託料	56千円			・宿直業務委託料（宿直1人）	2,938千円			・デマンド監視業務委託料	82千円			・PCB処理料（収集運搬委託料、処理手数料）	3,604千円			・火災保険料（庁舎、倉庫）	28千円		
○庁舎維持管理経費	14,992千円	○公用車維持管理経費	974千円																																												
・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油ほか）	5,283千円	・燃料費、修繕料（4台）	801千円																																												
・修繕料（庁舎維持補修等）	590千円	・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税）	79千円																																												
・施設清掃委託料	728千円	・保険料（自動車損害保険料4台、自賠責保険料2台）	94千円																																												
・設備維持管理費及び保守点検業務委託料（自家用電気工作物保安管理、空調機、エレベーターほか）	1,476千円																																														
・除草作業委託料	56千円																																														
・宿直業務委託料（宿直1人）	2,938千円																																														
・デマンド監視業務委託料	82千円																																														
・PCB処理料（収集運搬委託料、処理手数料）	3,604千円																																														
・火災保険料（庁舎、倉庫）	28千円																																														
・その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか）	207千円																																														
主要な事務・事業の概要							成果・課題																																								
	<p>○庁舎の適正な維持管理に努め、安心・安全のまちづくりを維持する拠点として円滑な運営を行った。</p> <p>○経年劣化により、空調機をはじめエレベーターや各種機器類の維持補修費用の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新を行う必要がある。</p>																																														

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							15,724千円	19,038千円	3,314千円	82.5 %
	目	08 庁舎管理費										(参考)当初予算額
	事業	04 丹後庁舎管理事業										18,717千円
課	丹後市民局											
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	使用料	公有財産使用料	198千円						
目的	丹後庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。			諸収入	丹後庁舎光熱水費負担金	749千円						
				市債	丹後庁舎環境整備事業債（公共施設等適正管理推進事業債）	200千円						
主要な事務・事業の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。											
	○庁舎維持管理経費		15,048千円	○公用車維持管理経費		676千円						
	<ul style="list-style-type: none"> <li>光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油ほか） 5,926千円</li> <li>修繕料（車庫オーバードア、外灯、トイレ、事務室ほか） 643千円</li> <li>施設清掃等委託料 770千円</li> <li>設備保守点検等委託料 1,365千円 （自家用電気工作物保安管理、エレベーター、自動ドア、空調設備ほか）</li> <li>宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 3,896千円</li> <li>デマンド監視業務委託料 55千円</li> <li>環境衛生管理委託料 1,681千円</li> <li>火災保険料（庁舎、車庫、倉庫ほか） 59千円</li> <li>その他経費（消耗品費、清掃用具借上料ほか） 289千円</li> <li>庁舎トイレ洋式化経費等 <ul style="list-style-type: none"> <li>工事図面印刷代 60千円</li> <li>工事設計監理委託料 304千円</li> </ul> </li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>燃料費、修繕料（4台） 551千円</li> <li>車検費用 対象車4台（登録手数料、自動車重量税） 40千円</li> <li>保険料（共済分担金4台、自動車損害保険料1台） 80千円</li> <li>タイヤ・バッテリー等処分手数料 5千円</li> </ul>								
				<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>15,738千円</td> </tr> <tr> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9%</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	15,738千円	実質的な予算執行率	99.9%		
参考	繰越明許費を除いた最終予算額	15,738千円										
	実質的な予算執行率	99.9%										
			<ul style="list-style-type: none"> <li>■令和4年度への繰越事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>丹後庁舎トイレ改修工事（令和4年6月完了） 3,300千円</li> </ul> </li> </ul>									
			成果・課題	○庁舎の適正な維持管理に努め、安心・安全のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。 ○地域公民館や図書室としての機能を有しているほか、JA京都間人支店が庁舎を利用しており、効率的な管理運営に努めた。 ○塩害と経年劣化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的な改修・修繕を行う必要がある。								

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							21,260千円	21,281千円	21千円	99.9 %
	目	08 庁舎管理費										(参考)当初予算額
	事業	05 弥栄庁舎管理事業										24,122千円
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	諸収入	弥栄庁舎光熱水費負担金	1,549千円						
目的	弥栄庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。			諸収入	弥栄庁舎火災保険料	1千円						
主要な事務・事業の概要	行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。											
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庁舎維持管理経費 19,843千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費及び燃料費（電気、上下水道、灯油） 2,384千円</li> <li>・修繕料（庁舎小規模修繕） 1,161千円</li> <li>・施設清掃委託料 202千円</li> <li>・設備保守点検等委託料 1,056千円 （自家用電気工作物保安管理、自動ドア、エレベーター、消防設備）</li> <li>・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人） 3,896千円</li> <li>・デマンド監視業務委託料 55千円</li> <li>・火災保険料 34千円</li> <li>・工事請負費（エレベーター改修） 11,000千円</li> <li>・その他経費（消耗品費、ごみ持込処理手数料ほか） 55千円</li> </ul> </li> <li>○公用車維持管理経費 492千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費、修繕料（3台） 402千円</li> <li>・車検費用 対象車1台（登録手数料、自動車重量税） 27千円</li> <li>・保険料（自動車損害保険料3台、自賠責保険料1台） 63千円</li> </ul> </li> <li>○庁舎用地借上料 387千円</li> <li>○駐車場用地借上料 538千円</li> </ul>											
				成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○庁舎の適正な維持管理に努め、安心、安全のまちづくりを推進する拠点施設として円滑な運営を行った。</li> <li>○庁舎の一部を事務所活用している各種団体（社会福祉協議会、シルバー人材センター等）と庁舎内の調整会議を行い、利用効率の良い共同管理に努めた。引き続き、経費節減に努めていく必要がある。</li> <li>○庁舎の老朽化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新を行う必要がある。</li> </ul>							

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																																			
	項	01 総務管理費							13,367千円	13,380千円	13千円	99.9 %																															
	目	08 庁舎管理費										(参考)当初予算額																															
	事業	06 久美浜庁舎管理事業										13,771千円																															
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		使用料	公有財産使用料	70千円																																						
目的	久美浜庁舎の円滑な運営を行うため、庁舎及び公用車等を適切に維持管理する。		主な財源	諸収入	久美浜庁舎光熱水費負担金	277千円																																					
				<p>行政推進の拠点となる庁舎及び公用車の維持管理経費や各種保守点検、行政事務執行上必要な消耗品費、燃料費、光熱水費等の経費を支出した。</p> <table border="0"> <tr> <td>○庁舎維持管理経費</td> <td>12,161千円</td> <td>○公用車維持管理経費</td> <td>615千円</td> </tr> <tr> <td>・光熱水及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油）</td> <td>2,938千円</td> <td>・燃料費、修繕料（車4台、自転車1台）</td> <td>307千円</td> </tr> <tr> <td>・修繕料（庁舎屋根漏水対策防水工事）</td> <td>4,168千円</td> <td>・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税）</td> <td>49千円</td> </tr> <tr> <td>・施設清掃委託料</td> <td>413千円</td> <td>・保険料（自動車損害保険料4台、自賠責保険料2台）</td> <td>101千円</td> </tr> <tr> <td>・設備保守点検等委託料 （リフト、自動ドア、自家用電気工作物、消防設備）</td> <td>431千円</td> <td>・自動車借上料 1台（地域おこし協力隊用）</td> <td>158千円</td> </tr> <tr> <td>・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人）</td> <td>3,896千円</td> <td>○庁舎倉庫借上料</td> <td>591千円</td> </tr> <tr> <td>・デマンド監視業務委託料</td> <td>82千円</td> <td>（土地853.50㎡、建物663.96㎡）</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・火災保険料（庁舎・倉庫ほか）</td> <td>22千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・備品購入費（掃除機1台）</td> <td>35千円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・その他経費（消耗品、ごみ処理手数料ほか）</td> <td>176千円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				○庁舎維持管理経費	12,161千円	○公用車維持管理経費	615千円	・光熱水及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油）	2,938千円	・燃料費、修繕料（車4台、自転車1台）	307千円	・修繕料（庁舎屋根漏水対策防水工事）	4,168千円	・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税）	49千円	・施設清掃委託料	413千円	・保険料（自動車損害保険料4台、自賠責保険料2台）	101千円	・設備保守点検等委託料 （リフト、自動ドア、自家用電気工作物、消防設備）	431千円	・自動車借上料 1台（地域おこし協力隊用）	158千円	・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人）	3,896千円	○庁舎倉庫借上料	591千円	・デマンド監視業務委託料	82千円	（土地853.50㎡、建物663.96㎡）		・火災保険料（庁舎・倉庫ほか）	22千円			・備品購入費（掃除機1台）	35千円		
○庁舎維持管理経費	12,161千円	○公用車維持管理経費	615千円																																								
・光熱水及び燃料費（電気、上下水道、ガス、灯油）	2,938千円	・燃料費、修繕料（車4台、自転車1台）	307千円																																								
・修繕料（庁舎屋根漏水対策防水工事）	4,168千円	・車検費用 対象車2台（登録手数料、自動車重量税）	49千円																																								
・施設清掃委託料	413千円	・保険料（自動車損害保険料4台、自賠責保険料2台）	101千円																																								
・設備保守点検等委託料 （リフト、自動ドア、自家用電気工作物、消防設備）	431千円	・自動車借上料 1台（地域おこし協力隊用）	158千円																																								
・宿日直業務委託料（宿直1人、日直1人）	3,896千円	○庁舎倉庫借上料	591千円																																								
・デマンド監視業務委託料	82千円	（土地853.50㎡、建物663.96㎡）																																									
・火災保険料（庁舎・倉庫ほか）	22千円																																										
・備品購入費（掃除機1台）	35千円																																										
・その他経費（消耗品、ごみ処理手数料ほか）	176千円																																										
主要な事務・事業の概要			成果・課題	<p>○庁舎の適正な維持管理に努め、安心、安全のまちづくりを推進する拠点として円滑な運営を行った。</p> <p>○地域公民館、図書室としての機能を有しているほか、社会福祉協議会、シルバー人材センターが庁舎を利用しており、効率的な管理運営に務めた。</p> <p>○庁舎（建物・機器）及び公用車の老朽化により、維持修繕費用の増加が見込まれるため、計画的に改修や更新、定期点検を行う必要がある。</p>																																							

予算科目	款	02 総務費	7,559千円	7,856千円	297千円	96.2 % (参考)当初予算額 9,747千円	部 課	市長公室 政策企画課
	項	01 総務管理費						
	目	09 企画費						
	事業	01 国際交流・多文化共生推進事業						
基本計画	24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進		主な財源	府補 ぎょうと地域連携交付金（国際交流・多文化共生推進事業） 1,300千円				
目的	幅広い分野における国際交流を推進し、多文化共生社会を実現するため、京丹後市国際交流協会と連携・協力し外国人相談支援に取り組むほか、国際交流員を任用する。							
主要な事務・事業の概要	○国際交流員（CIR）任用経費 2,859千円 【活動実績】市民向けの英語講座、市発行物の翻訳など ・報酬、費用弁償、社会保険料、雇用保険料（1人） 2,175千円 ・賃貸住宅敷金及び入居者サポート手数料、火災保険料 121千円 ・来日渡航費用負担金、自治体国際化協会負担金 563千円 来日直後オリエンテーション参加負担金、CIR研修参加負担金			○事務経費 12千円 ・旅費、有料道路通行料 ○委託料 1,015千円 ・多文化共生等事業委託料 132千円 ・外国人相談支援業務委託料 766千円 ・外国人支援サポーター養成業務委託料 117千円				
	○多文化共生推進プラン評価検討会議経費（1回開催） 104千円 ・委員（7人）及びアドバイザー（1人）謝金 46千円 ・費用弁償 58千円 ○京丹後市国際交流協会活動費補助金 3,569千円 【京丹後市国際交流協会の活動概要】 会員数：個人会員114人、団体会員25団体（令和4年3月末時点） ・国際理解教室（8回、参加者：約241人）※動画配信を含む ・日本語教室（学習者：約59人） ・外国語講座（Zoomオンライン講座（参加者11人）・ケーブルテレビ放送） ・ビーチクリーン（参加者65人、交流会22人） 等			成果・課題	○国際交流員の配置により、イベントや来賓対応での通訳を通じ、国際理解の促進を図った。また、広報資料等の翻訳を行い、外国人市民の方が暮らしやすい環境の整備を進めた。 ○多文化共生推進プラン評価検討会議を開催し、次年度に向けた多文化共生施策を検討した。 ○京丹後市国際交流協会に外国人相談支援業務を委託することで、適切な情報提供と外国人への相談対応ができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費	11,100千円	11,323千円	223千円	98.0%		
	目	09 企画費				(参考)当初予算額	課	政策企画課
	事業	02 京丹後市夢まち創り大学運営事業				12,174千円		
基本計画	24 国際交流・多文化共生と広域連携の促進		国補 地方創生推進交付金(1/2)		5,198千円			
目的	市内の各地域と大学が連携・協働して行うフィールドワークなどの実践的な活動を支援し、地域課題の解決や地域の活性化を図る。		主な財源					
主要な事務・事業の概要	○京丹後市夢まち創り大学運営補助金		9,649千円	○拠点施設(旧郷小学校校舎)の運営経費		113千円		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネート業務等委託料(地域と大学との調整等) 8,100千円</li> <li>・シェアハウス維持管理費(浄化槽、火災保険、修繕等) 109千円</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・通信運搬費(電話代、Wi-Fi利用料)</li> </ul>				
所在地：網野町郷、丹後町中浜				○普通旅費		2千円		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・シェアハウス運営費(家賃、光熱水費等) 1,416千円</li> <li>・振込手数料、消耗品等 24千円</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員旅費(京都市内大学への出張)</li> </ul>				
※学生の来丹人数：延べ413人、シェアハウス利用人数：延べ74人				○オンライン環境整備のための備品購入費		118千円		
地域と大学の協働により、参加10大学で16プログラムを実施				<ul style="list-style-type: none"> <li>・備品購入費(iPad、Web会議用マイクスピーカー、Webカメラ、ジンバル等)</li> </ul>				
○市マイクロバスの運行経費		1,218千円						
(京丹後市⇄京都市内：延べ259人利用)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 233千円</li> <li>・バス運転委託料 723千円</li> <li>・有料道路通行料 262千円</li> </ul>								
					成果・課題	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の来丹回数が減少する中、オンラインツールを活用し、地域とのコミュニケーションを取ること</p> <p>で、調査・研究交流活動を継続的に展開した。</p> <p>○地域資源を活用した缶詰商品の開発やお米のパッケージデザインなど目に見える成果を残した。また、本事業紹介用のパンフレットを作成し、高校、大学、受け入れ先地域への周知を行った。</p>		

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室															
	項	01 総務管理費							38,314千円	38,314千円	0千円	100.0%											
	目	09 企画費										(参考)当初予算額											
	事業	03 韓哲・まちづくり夢基金										2,233千円											
課	政策企画課																						
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	財産収入 韓哲・まちづくり夢基金利子収入		2,235千円																	
目的	韓昌祐氏からの寄附金を活用し、本市の教育、文化、芸術等まちづくりにつながる人材育成、顕彰等を行うことを目的に設置した「韓哲・まちづくり夢基金」への積立金			寄附金 ふるさと応援寄附金		36,079千円																	
主要な事務・事業の概要	○韓哲・まちづくり夢基金積立金（寄附分：254件）		36,079千円																				
	○韓哲・まちづくり夢基金積立金（利子分）		2,235千円																				
	(参考) 基金の状況		(単位：千円)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">令和2年度末 現在高</th> <th colspan="3">令和3年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和3年度末 現在高</th> </tr> <tr> <th>繰入金</th> <th>運用利子</th> <th>積立金</th> </tr> <tr> <th>①</th> <th>②</th> <th>③</th> <th>④</th> <th>①-②+(③+④)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>558,889</td> <td>3,156</td> <td>2,235</td> <td>36,079</td> <td>594,047</td> </tr> </tbody> </table>		令和2年度末 現在高	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高	繰入金	運用利子	積立金	①	②	③	④	①-②+(③+④)	558,889	3,156	2,235	36,079	594,047			
令和2年度末 現在高	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高																			
	繰入金	運用利子	積立金																				
①	②	③	④	①-②+(③+④)																			
558,889	3,156	2,235	36,079	594,047																			
<充当：4事業、3,156千円>																							
①オンラインホームステイ事業		6千円																					
②韓哲・まちづくり夢基金事業補助金		2,552千円																					
③市民陸上記録会in京丹後はごろも陸上競技場		238千円																					
④京丹後市高等学校全国募集入学生応援事業		360千円																					
				成果・課題																			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室						
	項	01 総務管理費							2,646千円	2,682千円	36千円	(参考)当初予算額	課	政策企画課
	目	09 企画費												
	事業	04 韓哲・まちづくり夢基金事業												
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	繰入金 韓哲・まちづくり夢基金繰入金 2,552千円										
目的	市民等の夢の実現を後押しするため、韓哲・まちづくり夢基金を活用し、本市の教育、文化、芸術又はスポーツの振興、地域経済活性化のための新産業の交流その他のまちづくりに繋がる人材育成、顕彰等を行う者に対して企画公募型の補助金を交付して支援する。													
主要な事務・事業の概要	○韓哲・まちづくり夢基金運用委員会経費（委員6人、4回開催） 83千円 内容：基金運用益の活用方法等の審議、補助金の企画提案内容審査 ・委員報酬（4千円／人） 72千円 ・費用弁償等 8千円 ・食糧費（お茶代） 3千円			○事務費 11千円 ・旅費、有料道路通行料										
	○韓哲・まちづくり夢基金事業補助金（企画公募型補助金） 2,552千円 市内団体から5企画の提案があり、韓哲・まちづくり夢基金運用委員会での審査を経て、次の5事業を採択し補助金を交付した。 ①「丹後から能楽師プロジェクト」 656千円 ②「子育て講演会・人形劇おやこ劇場」 813千円 ③「ピーチクリーンリーダー養成講座」 213千円 ④「想定外の自然災害が当たり前になる君たちへ」 737千円 ⑤「国際理解教室 米空軍軍楽隊演奏会」 133千円			成果・課題	○韓哲・まちづくり夢基金運用委員会を開催し、基金の適正な活用方法について検討を行った。 ○韓哲・まちづくり夢基金を活用し、市民が夢の実現に向けて取り組む活動に対して補助金を交付することにより、その夢の実現を後押しした。									

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 1,372千円	最終予算額 1,519千円	不用額 147千円	執行率	部 市長公室
	項	01 総務管理費				90.3 %	
	目	09 企画費				(参考)当初予算額	課 政策企画課
	事業	05 総合計画・総合戦略推進事業				2,439千円	
基本計画	29 幸福度指標を活用した施策点検		主な財源				
目的	第2次京丹後市総合計画及び京丹後市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進のため、京丹後市総合計画審議会を開催し、進捗管理を行うとともに、第2次総合計画「基本計画」の冊子を作成・配布し、市民及び関係機関への周知を図る。						
主要な事務・事業の概要	○総合計画審議会開催経費（委員30人、1回開催） 70千円 内容：第2次総合計画「基本計画」及びまち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況、人口ビジョンの改訂に係る審議 ・委員報酬（4千円／人） 60千円 ・費用弁償等 10千円						
	○第2次総合計画「基本計画」冊子印刷製本経費 1,302千円 内容：令和3年度を始期とする第2次総合計画「基本計画」の冊子を作成し、市民及び関係機関に配布 作成部数等：詳細版 500部 概要版 23,000部（全戸配布）						
成果・課題	○第2次総合計画「基本計画」の冊子を作成・配布し、計画の概要について市民、関係団体等への周知を図ることができた。 ○総合計画及び総合戦略の進捗状況等について審議を行い、共有を図った。 ○引き続き、総合的に人口減少対策等の取組を進めていく必要がある。						

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室														
	項	01 総務管理費							876,563千円	876,564千円	1千円	99.9 %										
	目	09 企画費										(参考)当初予算額										
	事業	06 ふるさと応援基金										600,012千円										
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源	財産収入	ふるさと応援基金利子収入	212千円																
目的	ふるさと応援寄附金を活用し、活力あるふるさとづくりを推進することを目的としたふるさと応援基金への積立金			寄附金	ふるさと応援寄附金	876,351千円																
主要な事務・事業の概要	○ふるさと応援基金積立金（寄附分：31,988件） 876,351千円 ○ふるさと応援基金積立金（利子分） 212千円 （参考）基金の状況 （単位：千円）			<充当：21事業、530,000千円> 主な充当事業																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">令和2年度末 現在高 ①</th> <th colspan="3">令和3年度中増減額</th> <th rowspan="2">令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)</th> </tr> <tr> <th>繰入金 ②</th> <th>運用利子 ③</th> <th>積立金 ④</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>599,780</td> <td>530,000</td> <td>212</td> <td>876,351</td> <td>946,343</td> </tr> </tbody> </table>					令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④	599,780	530,000	212	876,351	946,343	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育業務委託事業 70,000千円</li> <li>・道路橋梁維持補修事業 65,000千円</li> <li>・小学校スクールバス運行管理事業 65,000千円</li> <li>・中学校スクールバス運行管理事業 55,000千円</li> <li>・コミュニティ支援事業 40,000千円</li> <li>・地域総ぐるみ観光地づくり事業 40,000千円</li> <li>・峰山クリーンセンター管理運営事業 37,000千円</li> <li>・放課後児童健全育成事業 34,000千円</li> <li>・その他 13事業 124,000千円</li> </ul>			
令和2年度末 現在高 ①	令和3年度中増減額			令和3年度末 現在高 ①-②+(③+④)																		
	繰入金 ②	運用利子 ③	積立金 ④																			
599,780	530,000	212	876,351	946,343																		
					成果・課題	/																

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																		
	項	01 総務管理費							434,773千円	447,817千円	13,044千円	97.0 %														
	目	09 企画費										(参考)当初予算額														
	事業	07 ふるさと応援寄附金推進事業										301,664千円	課	政策企画課												
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源																							
目的	ふるさと納税制度を活用した寄附者への返礼として市の特産品等を送ることにより、自主財源の増加を図るとともに特産品のPRを図る。																									
主要な事務・事業の概要	○特産品等返礼業務委託料		407,801千円	※参考※ふるさと応援寄附金の推移（過去5年） <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>金額</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>940,383千円</td> <td>33,580件</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>587,794千円</td> <td>17,112件</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>298,399千円</td> <td>6,243件</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>265,517千円</td> <td>4,570件</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>272,031千円</td> <td>3,536件</td> </tr> </tbody> </table>						金額	件数	令和3年度	940,383千円	33,580件	令和2年度	587,794千円	17,112件	令和元年度	298,399千円	6,243件	平成30年度	265,517千円	4,570件	平成29年度	272,031千円	3,536件
		金額	件数																							
	令和3年度	940,383千円	33,580件																							
	令和2年度	587,794千円	17,112件																							
	令和元年度	298,399千円	6,243件																							
平成30年度	265,517千円	4,570件																								
平成29年度	272,031千円	3,536件																								
○クレジット決済		21,592千円																								
内容：インターネットからの寄附申込は、クレジット決済が可能 <ul style="list-style-type: none"> <li>・委託料（インターネットからの申込フォーム運営業務） 16,799千円</li> <li>・クレジット決済手数料（29,786件） 4,793千円</li> </ul>																										
○寄附手続事務関係経費		1,485千円																								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品費 28千円</li> <li>・印刷製本費（専用封筒、お礼品カタログ等） 369千円</li> <li>・通信運搬費 1,088千円</li> </ul>																										
○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）		3,895千円	成果・課題 ○ポータルサイトを拡充（5サイト→7サイト）し返礼品を拡充したことにより、寄附件数が1.96倍、寄附金額が1.60倍に増加し、都市部を中心に特産品のPRが図れた。 ○更なる寄附件数及び寄附金額の増加を図るため、ポータルサイトや返礼品の拡充、連携体制の構築、プロモーションの実施などに一層取り組む必要がある。																							

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							17,174千円	17,778千円	604千円	96.6 %
	目	09 企画費										(参考)当初予算額
	事業	08 ふるさとブランド推進事業										31,762千円
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		2,500千円						
目的	地域、関係機関等との連携やデータ分析に基づくプロモーションにより、ふるさと納税を活用した地域ブランディング及び地域経済の活性化を目指す。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	<p>○プロモーション経費 13,337千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふるさと納税特設サイト充実費用 5,447千円 特設サイト内特集記事の作成、返礼品写真撮影など</li> <li>ウェブ広告等PR費用 5,456千円 各ポータルサイト内PR広告、SNS広告など</li> <li>その他PR関係費用 1,812千円 PRチラシ・パンフ作成（チラシ：6,000枚、パンフ：10,000枚） イベント出展（11月28日（日）三重県いなべ市「わんてらす」） 広告料（新聞及び雑誌）、デザイン使用料など</li> <li>同窓会案内文書発送業務委託料（峰山高校） 622千円 本市出身者への呼びかけ実施、対象：5,386人（12月17日発送）</li> </ul> <p>○事務経費 944千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>先進地視察費用（旅費、有料道路通行料、自動車借上料等） 542千円</li> <li>旅費、有料道路通行料、駐車場使用料 179千円</li> <li>印刷製本費（返礼品同梱用お礼状 60,000枚） 198千円</li> <li>消耗品費（事務用品） 25千円</li> </ul>		<p>○地域ブランド創出モデル事業委託料【所管：商工振興課】 2,893千円</p> <p>市内事業者と大学生インフルエンサーをマッチングし、地域資源を活用した新たな商品開発とブランド化に向けた情報発信（インフルエンサーマーケティング）に取り組むモデル事業。商品開発、試験販売等を実施するとともに、SNS等による新商品等のPR・拡散を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内参加事業者数：6社 開発商品数：10点</li> <li>インスタグラム投稿 発信：116回 リーチ数：72,893</li> <li>河原町物産展：2月27日（日） 集客：約500人</li> </ul>									
	成果・課題			<p>○ふるさと納税ポータルサイト内広告などウェブ媒体での広告に注力し、本市の返礼品をはじめ、まちの魅力発信が図れた。</p> <p>○6事業者とインフルエンサーと事業者が、シルクを使ったフェイスマスク、ちりめん雑貨（巾着や花飾り）など、丹後の地域資源を活かし10点の商品を開発した。</p> <p>○特設サイトを認知してもらうためのキャンペーン企画の実施、PRを展開していく必要がある。</p>								

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 2,703千円	最終予算額 2,706千円	不用額 3千円	執行率 99.8 % (参考)当初予算額 0千円	部 市長公室
	項	01 総務管理費					
	目	09 企画費					
	事業	10 野村克也メモリアルプロジェクト推進事業					
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		国補 地方創生推進交付金（1/2）			1,271千円	課 政策企画課
目的	本市の名誉市民である故野村克也氏の功績を称え、市内外への発信を行うメモリアル事業を実施する。			主な財源			
主要な事務・事業の概要	○インタビュー動画制作経費【所管：商工振興課】 895千円 野村氏とゆかりのある現役プロ野球監督・野球関係者6人を取材し、そのインタビュー映像を野村克也ベースボールギャラリーで放映した。 ・インタビュー出演者謝金（4人） ※2人は別事業で来丹の際に取材を行ったため謝金不要 200千円 ・撮影、編集委託料 ・会場使用料 535千円 ・職員旅費 17千円 ・有料道路通行料 139千円 4千円 <取材対象者> 高津臣吾氏（東京ヤクルトスワローズ監督） 矢野燿大氏（阪神タイガース監督） 石井一久氏（東北楽天ゴールデンイーグルス監督） 辻発彦氏（埼玉西武ライオンズ監督） 江本孟紀氏（プロ野球解説者） 黒田正宏氏（プロ野球解説者）			○デジタルコンテンツ制作経費【所管：商工振興課】 1,808千円 「野村語録」の中から南海ホークス時代の背番号にちなんで19の言葉を、野村氏のイラストとともに紹介するデジタルコンテンツ（AR）を制作し、野村克也ベースボールギャラリーで公開した。 ・デジタルコンテンツ制作委託料 1,808千円			
				成果・課題		○野村氏とゆかりのある現役プロ野球監督等のインタビューを放送することで、野村氏のことを直接知らない人たちにも、その功績や考えを知ってもらうことができた。 ○また、ARというコンテンツを使って体験してもらうことにより興味を持ってもらい、野村氏の言葉を知ってもらうことができた。 ○今後は、ベースボールギャラリーだけでなく、ケーブルテレビや市内施設でも放送するなど、さらに周知を図る。	

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室					
	項	01 総務管理費							15,912千円	16,264千円	352千円	97.8 %	
	目	09 企画費											(参考)当初予算額
	事業	11 まちづくりグランドデザイン推進事業											
基本計画	12 快適な都市空間の形成		主な財源										
目的	京丹後市総合計画の都市機能構想に基づく都市拠点及び地域拠点の形成に向け、SDGsの達成やSociety5.0、脱炭素社会の実現等の世界的潮流も踏まえ、市民が未来への活力を創造できる魅力的で持続可能なまちづくりのグランドデザインを検討し、それを推進する。												
主要な事務・事業の概要	○都市拠点等の在り方検討会議経費		296千円	○庁舎増築棟整備基本計画検討会議経費		391千円							
	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員謝金（委員12人、4回） 192千円</li> <li>旅費（費用弁償、職員旅費） 78千円</li> <li>需用費（会議お茶代） 2千円</li> <li>使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料） 24千円</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>委員謝金（委員12人、4回） 214千円</li> <li>旅費（費用弁償、職員旅費） 149千円</li> <li>需用費（会議お茶代） 6千円</li> <li>使用料及び賃借料（有料道路通行料、駐車場使用料） 22千円</li> </ul>									
○網野庁舎跡地活用構想検討会議経費		265千円	○庁舎増築棟整備基本計画策定委託料		14,960千円								
<ul style="list-style-type: none"> <li>委員謝金（委員14人、4回） 224千円</li> <li>旅費（費用弁償） 9千円</li> <li>需用費（会議お茶代） 6千円</li> <li>使用料及び賃借料（会場使用料） 26千円</li> </ul>			<b>成果・課題</b> ○都市拠点等の在り方検討会議を開催し、中間報告としてしんざん小学校隣接エリアの構想を取りまとめることができました。 ○網野庁舎跡地活用構想検討会議を開催し、網野町区長連絡協議会からの提言も踏まえた検討を行い、網野庁舎跡地活用基本構想を取りまとめることができました。 ○庁舎増築棟整備基本計画検討会議を開催し、庁舎増築棟整備基本計画を取りまとめることができました。 ○都市拠点等の在り方について、引き続き検討していく。										

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							100,012千円	100,013千円	1千円	99.9 %
	目	09 企画費										(参考)当初予算額
	事業	12 都市拠点等整備まちづくり推進基金										0千円
課	政策企画課	財産収入 都市拠点等整備まちづくり推進基金利子収入		12千円								
基本計画	12 快適な都市空間の形成											
目的	京丹後市総合計画及び京丹後市都市計画マスタープランに掲げる都市拠点及び地域拠点の整備を円滑に進めることを目的として、「都市拠点等整備まちづくり推進基金」への積立金		主な財源									
主要な事務・事業の概要	○都市拠点等整備まちづくり推進基金積立金		100,000千円									
	○都市拠点等整備まちづくり推進基金積立金（利子分）		12千円									
(参考) 基金の状況		(単位：千円)										
令和2年度末現在高		令和3年度中増減額			令和3年度末現在高							
①	②	③	④	①-②+(③+④)								
	0	12	100,000	100,012								
成果・課題												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 1,154千円	最終予算額 1,290千円	不用額 136千円	執行率	部 市長公室	
	項	01 総務管理費				89.4 %		
	目	09 企画費				(参考)当初予算額		
	事業	13 SDGs推進事業				0千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		主な財源					
目的	令和3年5月の「SDGs未来都市」への選定を契機として、本市におけるSDGsの達成に向けた取組を加速させ、持続可能なまちづくりを推進する。							
主要な事務・事業の概要	OSDGs未来都市普及啓発物品等作成経費		915千円	【SDGs未来都市・ゼロカーボンシティ推進フェア開催概要】 <ul style="list-style-type: none"> <li>開催日 令和3年11月21日（日）</li> <li>場所 丹後王国「食のみやこ」</li> <li>来場者数 約200人</li> <li>主な内容 ユニバーサルデザインのみちづくりをテーマにしたトークイベント、基調講演、ゼロカーボンクイズ大会、高校生によるSDGs・ゼロカーボンアイデアプレゼン、市内事業所・団体等による展示体験コーナーの設置 等</li> </ul>				
	<ul style="list-style-type: none"> <li>懸垂幕（8枚）、バス車両広告（20枚） 655千円</li> <li>公用車用マグネットシート（130枚）</li> <li>ポスター（300枚） 220千円</li> <li>京丹後版SDGs公式ロゴマーク作成ワークショップ 40千円</li> </ul>							
主要な事務・事業の概要	OSDGs未来都市・ゼロカーボンシティ推進フェアの開催経費		239千円	成果・課題	○普及啓発物品の作成やイベントの開催等を通じて、高校生等将来世代をはじめ、広く市民、団体等に対してSDGsの理念の浸透を図ることができた。 ○目標年次である2030年に向けて、各主体による自主的な活動の活性化を図るとともに、連携して取組を推進していく必要がある。			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>講師謝金 10千円</li> <li>講師派遣委託料 116千円</li> <li>チラシ印刷代 99千円</li> <li>有料道路通行料 14千円</li> </ul>							

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室
	項	01 総務管理費				75.6 %		
	目	09 企画費				(参考)当初予算額		
	事業	50 企画一般経費				14,087千円		
基本計画	30 行財政改革大綱（効率的・効果的な行財政運営）		国補	地方創生推進交付金（1/2）		1,013千円		
目的	非常勤特別職の配置や京都府北部7市町で組織する京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会等への加入、各種会議等への参加等により、市政及び広域行政等の推進を図る。			主な財源				
主要な事務・事業の概要	○教育参与任用経費（令和3年5月～令和4年3月）		791千円	○野村克也メモリアルプロジェクト経費		52千円		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育参与報酬（1人） 週2日勤務 738千円</li> <li>・費用弁償 53千円</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・野村克也メモリアルプロジェクト委員会委員謝金 48千円</li> <li>（委員16人、1回）</li> <li>・費用弁償 4千円</li> </ul>				
主要な事務・事業の概要	○負担金		3,906千円	○その他経費		144千円		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国半島振興市町村協議会負担金 20千円</li> <li>・京都府丹後半島振興期成会負担金 10千円</li> <li>・京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会負担金 3,170千円</li> <li>・京都府北部地域連携都市圏広域的地域公共交通計画策定事業負担金 457千円</li> <li>・全国過疎地域連盟負担金 222千円</li> <li>・平和首長会議メンバーシップ負担金 2千円</li> <li>・幸せリーグ負担金 5千円</li> <li>・全国水源の里連絡協議会負担金 20千円</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務経費（消耗品費、旅費、有料道路通行料等） 112千円</li> <li>・火災保険料（旧下宇川保育所） 32千円</li> </ul>				
				成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会による7市町連携の取組を推進し、圏域全体の活性化や課題解決に向け事業を実施した。</li> <li>○本市の名誉市民である故野村克也氏の功績を称え、顕彰と市内外への発信を行うメモリアル事業を実施するため、野村克也メモリアルプロジェクト委員会を開催した。</li> </ul>			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							22,697千円	23,247千円	550千円	97.6 %
	目	10 移住・定住推進費										(参考)当初予算額
	事業	01 地域おこし協力隊活動事業										40,718千円
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源									
目的	人口減少や高齢化が進む中、地域外の人材を誘致し、地域の再生・活性化に向けた活動をしてもらうことで、地域力の維持・強化を図る。											
主要な事務・事業の概要	地域活動の支援や活性化を図るため、7人（各市民局1人及び観光振興課1人）の地域おこし協力隊（会計年度任用職員）を配置した。											
	主な活動地域		所管課	人数	任用始期							
	峰山町		峰山市民局	1人	令和3年9月							
	大宮町		大宮市民局	1人	令和3年9月							
	網野町		網野市民局	1人	令和元年11月							
	丹後町宇川地域		丹後市民局	1人	令和3年9月							
	弥栄町		弥栄市民局	1人	令和3年9月							
	久美浜町佐濃地域		久美浜市民局	1人	令和4年1月							
	久美浜町かぶと山周辺		観光振興課	1人	令和4年3月							
					（令和4年3月末現在）							
○地域おこし協力隊報酬等（社会保険料含む）			14,025千円									
○旅費（費用弁償）			199千円									
○需用費（消耗品費、燃料費、修繕料）			741千円									
○役務費 （通信運搬費、賃貸住宅仲介手数料（3軒）、自動車損害保険料）			330千円									
○地域おこし協力隊募集業務委託料 募集 2回			242千円									
					○使用料及び賃借料 5,220千円							
					・自動車借上料（7台） 1,304千円							
					・家屋借上料（住居7軒） 3,914千円							
					・施設使用料 2千円							
					○備品購入費 408千円							
					デジタルカメラ（2台）、ノートパソコン（2台）							
					○負担金、補助及び交付金 1,532千円							
					・各種研修会負担金 18千円							
					・地域おこし協力隊起業支援補助金（2件） 1,514千円							
成果・課題					○各隊員が研修活動を行うとともに、地区での協力活動や地域行事にも積極的に参加するなど、地域の再生・活性化に向けた活動を行い、地域力の維持・強化に寄与できた。 ○地域おこし協力隊募集について、オンライン説明会の開催等を行っているところであるが、ターゲットを明確にするなど人材確保に向け、募集方法の工夫を引き続き行っていく必要がある。							

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	市長公室
	項	01 総務管理費	41,984千円	42,234千円	250千円	99.4 %						
	目	10 移住・定住推進費				(参考)当初予算額						
	事業	02 移住促進・空家改修支援事業				31,065千円	課	政策企画課				
基本計画	14 安全でうるおいのある住環境の形成											
目的	移住希望者の相談窓口・案内業務や情報発信等を行うとともに、移住希望者のためのお試し移住体験住宅の運営、京都府の「移住促進事業費補助金」を活用した空家改修等の経費に対する補助金の交付を行い、本市への移住・定住を促進する。		主な財源	国補	地方創生推進交付金（1/2）		4,135千円					
				国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金		10,000千円					
				府補	移住促進事業費補助金（1/2）		6,350千円					
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金		9,000千円					
				諸収入	お試し移住体験住宅貸付料		629千円					
				諸収入	地方創生「パイ」-事業助成金		90千円					
主要な事務・事業の概要	○京丹后市移住支援センター設置経費		7,467千円	○移住促進・空家改修支援事業補助金、移住奨励金		29,812千円						
	〔受託事業者〕一般社団法人丹後暮らし探求舎			・移住促進住宅整備事業（空家改修19件）		28,900千円						
	〔センター所在地〕京丹后市峰山町杉谷			・空家流動化促進事業（所有者家財撤去2件）		150千円						
	〔業務内容〕			・移住奨励金（11件）		762千円						
	・移住相談員（2人）による移住相談対応、現地案内			○定住空家情報バンク改修経費		2,200千円						
	・ホームページ、Webサイトによる情報発信			○定住空家情報バンク運営経費（システムサーバー使用料等）		76千円						
	・市内各地域や移住者との交流事業、定住支援ほか			○動画編集用備品購入費（カメラ・スタンド・ノートPC各1台）		171千円						
	※令和3年度中の移住者：51世帯、76人（所管課把握数）			○その他経費（旅費、消耗品費、クラウドサービス利用料等）		889千円						
	相談件数：約760件			成果・課題								
	○セミナー開催経費		130千円	○京丹后市移住支援センターを設置（移住相談員2人配置）し、オンライン相談も受け付ける等きめ細やかな相談対応を行うことができた。								
	・空家セミナー（12月開催 参加者7人）		40千円	○定住空家情報バンクをリニューアルし、物件検索機能や地域の魅力の発信力を強化することができた。								
	・市職員向け情報発信セミナー（9月開催 全3回、参加者延べ85人）		90千円	○空家の改修工事等に補助金を交付することにより、移住者の定住を進めることができた。一方で、空家の活用が条件となっているため、令和4年度に若年層やUターン者等が利用しやすい支援策の拡充を行う。								
	○お試し移住体験住宅（2棟）の運営等経費		1,239千円									
	〔利用件数等〕11件、26人											

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							282千円	282千円	0千円	100.0%
	目	10 移住・定住推進費										(参考)当初予算額
	事業	03 地域少子化対策・婚活支援事業										764千円
課	政策企画課											
基本計画	18 支え合い、助け合う地域福祉の推進		主な財源									
目的	京丹後市社会福祉協議会が実施する市内独身者の結婚支援を目的とした婚活サポート事業を支援するとともに、婚活イベントを実施する団体等に補助金を交付し、少子化の要因となる未婚化及び晩婚化等に対応する。											
主要な事務・事業の概要	○婚活支援推進事業補助金 282千円 【婚活支援センター概要】（設置運営：京丹後市社会福祉協議会） 結婚を希望する独身者やその家族に対し、世話やしき隊による相談支援や婚活に関する情報提供など、伴走支援を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの運営、婚活情報提供希望者への情報発信 ※メルマガ登録者数133人</li> <li>・婚活サポート企業の募集、認定、登録（令和3年度末 登録企業36社）</li> <li>・オンライン交流会「仕合せ京丹後」の開催 ※7人参加</li> <li>・婚活ファシリテーター「世話やしき隊」の任命、登録、新任・現任研修の実施 ※世話やしき隊令和3年度末登録者数15人</li> </ul>											
	成果・課題	○婚活支援センターの婚活支援事業を支援することで、婚活情報の発信・提供体制、市内関係団体の連携体制を確保することができた。 ○新型コロナウイルス感染症により婚活イベントの開催自粛が続き、イベント開催補助金による出会いの場づくりを支援することができなかった。 ○新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、感染症対策を踏まえ、出会いの機会を確保していく必要がある。										

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							18,572千円	19,056千円	484千円	97.4 %
	目	10 移住・定住推進費										(参考)当初予算額
	事業	04 京丹後未来創生人材育成事業										19,447千円
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		国補	地方創生推進交付金(1/2)	3,386千円	課	政策企画課					
目的	高校生と地域等を繋ぎ、高校生の意識の変化や気づきを促すコーディネーターを配置するとともに、高校生や若者が、地域や大学生等と交流しながら未来のまちづくりにチャレンジする拠点を運営し、高校生等の地元定着率の向上を図る。											
主要な事務・事業の概要	○コーディネーター（地域おこし協力隊員）任用経費 11,781千円 高校生と地域の架け橋となるコーディネーター（3人）を任用した。 3人×12か月 〔主な活動場所〕峰山高等学校、丹後緑風高等学校、清新高等学校 ・報酬等（会計年度任用職員報酬、社会保険料等） 8,721千円 ・旅費（費用弁償、普通旅費） 96千円 ・需用費（消耗品費、燃料費） 162千円 ・役務費（自動車損害保険料） 52千円 ・使用料及び賃借料 2,750千円 （自動車借上料3台、家屋借上料3件、駐車場使用料、有料道路通行料）			○京丹後市未来チャレンジ交流センター設置・運営経費 6,791千円 ・京丹後市未来チャレンジ交流センター運営業務委託料 5,654千円 支援員（1人）による高校生・若者・地域の人などのアイデア・企画のコーディネート等を委託 ・需用費（燃料費、光熱水費、修繕料） 243千円 ・役務費（通信運搬費、火災保険料） 72千円 ・使用料及び賃借料（駐車場使用料、家屋借上料） 822千円 ※令和3年度中に実現したプロジェクト数：40件 来訪者数：2,946人								
	成果・課題	○高校へのコーディネーター（地域おこし協力隊員）の配置により、高校生が地域等と繋がる機会を創出することができ、高校生の意識の変化や新たな気づき、地元への愛着の醸成に繋げることができた。 ○京丹後市未来チャレンジ交流センターの設置により、高校生や若者の自由な発想によるまちづくりへのアイデアや企画を実践していく体制を整えるとともに、市外在住者を含め若者、地域、企業、高校等が連携したプロジェクトなどが生み出される素地をつくることができた。										

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							129,462千円	129,637千円	175千円	99.8 %
	目	13 地域自治推進費										(参考)当初予算額
	事業	01 自治組織活動支援事業										129,637千円
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	繰入金	地域振興基金繰入金	30,000千円						
目的	市民が自主的・主体的に行う住民自治活動を支援し、市と地域との協働を推進して住みよい地域社会を実現する。			市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）	85,200千円						
主要な事務・事業の概要	○地域振興交付金		126,642千円	○職員旅費		2千円						
	〔算出方法〕均等割200万円＋世帯割5,400円×世帯数			○会場借上料		18千円						
	・峰山町区長会	27,817千円										
	・大宮町区長協議会	22,963千円										
	・網野町区長連絡協議会	29,367千円										
	・丹後町区長連絡協議会	13,915千円										
	・弥栄町区長連絡協議会	11,628千円										
	・久美浜町区長連絡協議会	20,952千円										
	○区長連絡協議会運営事業交付金		2,800千円	成果・課題	市からの照会や依頼に基づく文書配付などの取扱事務、地域環境の整備、集会所の維持管理、コミュニティ活動等に対し交付金を交付することにより、自治会活動の支援及び市と地域との協働を推進することができた。							
	・京丹後市区長連絡協議会	400千円										
・峰山町区長会	400千円											
・大宮町区長協議会	400千円											
・網野町区長連絡協議会	400千円											
・丹後町区長連絡協議会	400千円											
・久美浜町区長連絡協議会	400千円											

予算科目	款	02 総務費		本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室	
	項	01 総務管理費		103,688千円	104,066千円	378千円	99.6 %			
	目	13 地域自治推進費					(参考)当初予算額			
	事業	02 ミニティ支援事業					89,273千円	課	地域ミニティ推進課	
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり			府補	きょうと地域連携交付金（ミニティ支援事業）			29,000千円		
目的	持続可能な地域づくりのため、各種事業を実施する地区、市民活動団体などに対し、ハード・ソフトの両面で支援し、自治と協働によるまちづくりを進める。			主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金			40,000千円	
					諸収入	自治宝くじミニティ助成金（一般ミニティ事業）（10/10）			17,500千円	
主要な事務・事業の概要	○地域集会施設整備費補助金			66,066千円		○コミュニティビジネス応援補助金【補助率：2/3以内】			2,000千円	
	【補助率：新築〔2/3以内〕 修繕〔1/2以内（世帯数29戸以下は5/9以内）】】（単位：千円）					地域産業の活性化、地域資源活用によるコミュニティビジネスを支援（2件）				
						○自治宝くじコミュニティ助成金【補助率：10/10以内】			17,500千円	
						コミュニティ備品の整備を支援			（単位：千円）	
	区分	町名	地区等	事業内容	総事業費	補助金額	事業実施団体	整備内容	総事業費	助成金額
	新築	峰山町	五箇区	集会施設新築	58,000	36,501	峰山町西山区	テーブル、テレビ、パソコンほか	2,502	2,500
		久美浜町	永留区	集会施設新築	37,260	24,173	大宮町三坂区	秋祭り用屋台	6,650	2,500
	修繕	大宮町	周枳区	集会施設外壁塗装	5,610	2,236	網野町木津連合区	テーブル、椅子、パソコンほか	2,506	2,500
		丹後町	乗原区	集会施設トイレ改修	2,090	1,161	丹後町間人区	除雪機、発電機	2,510	2,500
		久美浜町	長野区	集会施設外構補修	1,584	880	弥栄町野間連合区	エアコン、椅子、パソコンほか	2,603	2,500
河内区			作業場改修	2,318	1,115	弥栄町黒部区	パソコン、テレビ、冷蔵庫ほか	2,500	2,500	
合計				106,862	66,066	合計		21,808	17,500	
○集会施設等簡易修繕、村おこし・地域づくり事業等補助金【各市民局】										
【補助率：1/3以内（地域まちづくり計画掲載事業1/2以内）】（単位：千円）										
集会施設等簡易修繕		村おこし・地域づくり		合計						
件数	金額	件数	金額	件数	金額					
149	15,034	18	1,864	167	16,898					
○市民力活性化支援事業補助金【補助率：2/3以内】			1,224千円							
市民活動団体などが実施する自然環境保全、伝統文化継承、青少年健全育成等に関する活動を支援（8件）										
成果・課題	○市民活動団体などが実施する地域の活力の向上や課題解決などの取組を支援することで、持続可能な地域づくりの一助とすることができた。 ○自治組織が行うコミュニティ備品の整備に対して支援を行うことで、地域コミュニティ活動の充実及び強化に資することができた。 ○地区集会施設の修繕等については、建物や備品の老朽化により、申請相談件数が増加傾向にあることから、緊急度合い等に配慮して助成する必要がある。									

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							23,577千円	23,708千円	131千円	99.4 %
	目	13 地域自治推進費										(参考)当初予算額
	事業	04 地域づくり支援事業										31,249千円
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		国補	地方創生推進交付金(1/2)			2,036千円					
目的	過疎化・少子高齢化等の進展により地域運営が困難になりつつある状況を踏まえ、「新たな地域コミュニティ」の組織づくりや、協同労働による事業づくりに向けた地域活動を支援し、持続可能な地域づくりの取組を進める。			主な財源								
主要な事務・事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新たな地域コミュニティ」組織づくり事業 5,149千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新たな地域コミュニティ設立支援事業補助金 4,350千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>①調査研究・組織設立推進事業【補助率10/10(上限200千円)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>計画策定や組織づくりを支援 350千円</li> <li>交付件数：2件(吉野、豊栄)</li> </ul> </li> <li>②活動・運営事業【補助率10/10(上限1,000千円)】 <ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決や組織運営の実践を支援 4,000千円</li> <li>交付件数：4件(久美浜一区、久美浜二区、佐濃、野間)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・地域マネージャー業務委託料 713千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>組織設立を支援する「地域マネージャー」を配置(2組織)</li> <li>配置地域：吉野校区、豊栄地域</li> </ul> </li> <li>・事務経費(消耗品費等) 86千円</li> </ul> </li> <li>○新たな地域コミュニティ推進大会開催経費 124千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>目的：市内モデル地域の活動状況の共有や地域で稼ぐ力の強化</li> <li>概要：12月20日(弥栄庁舎)、参加人数：82人</li> <li>※京丹後市区長連絡協議会と共催</li> </ul> </li> <li>○地域コミュニティ推進に向けた庁内連携コーディネート経費 416千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>庁内の協働体制づくりに関するコーディネート</li> <li>市民局連携会議(1回)、職員全体研修会(1回)、庁内連携支援(オンライン11回)</li> </ul> </li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>○協同労働推進事業 580千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会及び相談会開催経費 538千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>労働者協同組合法研修会</li> <li>概要：10月24日(峰山総合福祉センター)、参加者：57人</li> <li>協同労働に関する個別相談会(2回)</li> <li>概要：2月18日(峰山庁舎)、2月21日(大宮庁舎)</li> <li>参加団体：延べ7団体</li> </ul> </li> <li>・先進地視察経費 42千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>訪問先：広島市協同労働プラットフォーム「らぼーろひろしま」他</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>○地域づくり支援員任用経費(6人×12か月)【各市民局】 17,308千円</li> </ul>							
	成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「新たな地域コミュニティ」のモデル地域として、6地域の活動を支援することができた。</li> <li>○推進大会を開催し、モデル地域の取組を他地域へ共有したが、横展開の支援を図るなど、持続可能な地域づくりの取組を推進する必要がある。</li> <li>○地域を担う人材育成や地域で稼ぐ事業づくりを進めるため、若者や女性など多様な人が参画しやすい仕組みづくりを支援する必要がある。</li> </ul>										

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																								
	項	01 総務管理費							15,084千円	15,293千円	209千円	98.6 %																				
	目	13 地域自治推進費										(参考)当初予算額																				
	事業	06 集会施設等指定管理施設運営事業										15,293千円																				
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）		11,300千円																										
目的	地域の活動の拠点となる市所有集会施設について、地区等を指定管理者に指定して管理運営を行い、地域コミュニティ活動の充実及び強化を図る。			主な財源																												
主要な事務・事業の概要	○指定管理委託料（10施設）		13,705千円		○修繕料 949千円 ・久美浜林業センターエアコン修繕 110千円 ・久美浜機業センター外壁修繕 737千円 ・久美浜福祉センター漏水修繕 102千円 ○工事請負費 374千円 ・久美浜福祉センター研修室エアコン設置工事（1台） ○火災保険料（10施設） 56千円																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指定管理施設名</th> <th>金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>五十河地区基幹集落センター</td> <td>640千円</td> </tr> <tr> <td>野間基幹集落センター</td> <td>220千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜福祉センター</td> <td>1,646千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜果樹センター</td> <td>1,359千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜農業センター</td> <td>1,939千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜婦人センター</td> <td>1,799千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜林業センター</td> <td>1,265千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜機業センター</td> <td>1,693千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜健康センター</td> <td>1,357千円</td> </tr> <tr> <td>久美浜ぎょそんセンター</td> <td>1,787千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>13,705千円</td> </tr> </tbody> </table>		指定管理施設名	金額	五十河地区基幹集落センター	640千円	野間基幹集落センター	220千円	久美浜福祉センター	1,646千円	久美浜果樹センター	1,359千円	久美浜農業センター	1,939千円	久美浜婦人センター	1,799千円	久美浜林業センター	1,265千円	久美浜機業センター	1,693千円	久美浜健康センター	1,357千円	久美浜ぎょそんセンター	1,787千円	合計	13,705千円			成果・課題 ○地区等の指定管理者による適切な管理運営により、良好な利用環境を提供した。 ○効率的・効果的な施設運営に向け、老朽化等施設の状況に応じた管理運営を行う必要がある。			
指定管理施設名	金額																															
五十河地区基幹集落センター	640千円																															
野間基幹集落センター	220千円																															
久美浜福祉センター	1,646千円																															
久美浜果樹センター	1,359千円																															
久美浜農業センター	1,939千円																															
久美浜婦人センター	1,799千円																															
久美浜林業センター	1,265千円																															
久美浜機業センター	1,693千円																															
久美浜健康センター	1,357千円																															
久美浜ぎょそんセンター	1,787千円																															
合計	13,705千円																															

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額 772千円	最終予算額 818千円	不用額 46千円	執行率 94.3 % (参考)当初予算額 818千円	部	市長公室																											
	項	01 総務管理費						課	久美浜市民局																										
	目	14 地域振興費																																	
	事業	04 久美浜公会堂等管理事業																																	
基本計画	21 市民参画・協働によるまちづくり		主な財源	使用料 久美浜公会堂使用料 17千円																															
目的	市民及び地域福祉の増進と文化の向上を図るため、久美浜公会堂及び浜公園（屋外トイレを含む）の管理を行う。																																		
主要な事務・事業の概要	○久美浜公会堂・浜公園維持管理経費 772千円 ・消耗品費（トイレ用品、除草剤ほか） 40千円 ・燃料費（公会堂灯油代） 8千円 ・光熱水費（公会堂電気・上下水道） 122千円 ・修繕料（屋外トイレカラン、公会堂正面引き戸） 18千円 ・手数料（ピアノ調律、運搬手数料） 132千円 ・火災保険料（公会堂・浜公園トイレ） 18千円 ・施設清掃委託料（公会堂・浜公園・浜公園トイレ） 343千円 ・消防設備等保守点検委託料 36千円 ・防火対象物定期点検報告業務委託料 12千円 ・原材料費（浜公園グラウンド整備用山土） 7千円 ・備品購入費（掃除機1台） 36千円		※久美浜公会堂利用状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成28年度</td> <td>134</td> <td>8,269</td> <td>各種イベント、市選挙投票所</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>145</td> <td>8,246</td> <td>各種イベント</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>152</td> <td>8,132</td> <td>各種イベント、府選挙投票所</td> </tr> <tr> <td>平成31年度</td> <td>147</td> <td>7,198</td> <td>各種イベント、国・府選挙投票所</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>102</td> <td>3,082</td> <td>各種イベント、市選挙投票所</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>105</td> <td>2,665</td> <td>各種イベント、国選挙投票所</td> </tr> </tbody> </table>					年度	回数	人数	備考	平成28年度	134	8,269	各種イベント、市選挙投票所	平成29年度	145	8,246	各種イベント	平成30年度	152	8,132	各種イベント、府選挙投票所	平成31年度	147	7,198	各種イベント、国・府選挙投票所	令和2年度	102	3,082	各種イベント、市選挙投票所	令和3年度	105	2,665	各種イベント、国選挙投票所
	年度	回数	人数	備考																															
平成28年度	134	8,269	各種イベント、市選挙投票所																																
平成29年度	145	8,246	各種イベント																																
平成30年度	152	8,132	各種イベント、府選挙投票所																																
平成31年度	147	7,198	各種イベント、国・府選挙投票所																																
令和2年度	102	3,082	各種イベント、市選挙投票所																																
令和3年度	105	2,665	各種イベント、国選挙投票所																																
		成果・課題 ○地域福祉の増進と地域文化の向上を推進する拠点施設として円滑な運営を行った。 ○市民要望により、公会堂内へ新たにピアノを設置し、音楽イベント等で活用され、地域文化の向上に資することができた。 ○施設を適切かつ安全に使用するために、老朽箇所の計画的な修繕を図る必要がある。 ○施設の美観を守るため、特に内部の維持管理を計画的に行っていく必要がある。																																	

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							109,641千円	109,686千円	45千円	99.9%
	目	15 公共交通対策費										(参考)当初予算額
	事業	02 地方バス路線運行維持対策事業										135,286千円
課	政策企画課											
基本計画	15 ひとが行き交う公共交通の充実		府補 繰入金	市町村運行確保生活路線維持費補助金(1/2)		6,548千円						
目的	国及び府と協調して生活交通路線バスの運行を支援し、生活交通としての地域のバス路線を維持・確保する。		主な財源	地域振興基金繰入金		90,000千円						
主要な事務・事業の概要	○地方バス路線運行維持対策補助金(国庫補助対象路線) 96,545千円 丹後海陸交通(株)のバス路線の維持に対する補助			○市町村運行確保生活路線維持費補助金(国庫補助対象外路線) 13,096千円 自主運行路線「弥栄網野砂丘線」の維持に対する補助								
	【国庫補助路線分】 (単位:便/日(平日)、千円)			【単位:便/日(平日)、千円)								
	系統名	起点	主な経由地	終点	便数	補助金額	系統名	起点	主な経由地	終点	便数	補助金額
	経ヶ岬線	上宮津	与謝の海病院	経ヶ岬	8	562	弥栄網野砂丘線	弥栄分校前	網野駅	久美浜温泉湯元館	11	13,096
峰山線	野田川丹海前	京丹後大宮駅	峰山駅	13	7,715							
海岸線	メイン前	網野・間人	経ヶ岬	14	25,347							
間人循環線	峰山	溝谷・間人	峰山駅	14	25,000							
久美浜線	メイン前	野中・友重	久美浜駅	12	11,277							
丹後峰山線	メイン前	溝谷・間人	経ヶ岬	10	19,256							
	合 計			71	89,157							
	【フィーダー系統補助路線分】 (単位:便/日(平日)、千円)											
系統名	起点	主な経由地	終点	便数	補助金額							
峰山四辻線	峰山駅	メイン前	四辻	10	4,408							
峰山延利線	峰山	メイン前	小町公園	9	2,980							
	合 計			19	7,388							
成果・課題	○路線バスの運行を維持・確保するとともに、地域住民や観光客の足として利便性の維持を図った。 ○バス業界全体の運転士不足が続く中、持続可能な公共交通網の確保等について引き続き検討していく必要がある。 ○新型コロナウイルス感染症の影響による外出自粛等により、利用者が大きく減少しているが、住民の移動手段として、維持・確保が必要である。											

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							13,801千円	13,957千円	156千円	98.8 %
	目	15 公共交通対策費										(参考)当初予算額
	事業	03 市営バス運行事業										15,057千円

基本計画	15 ひとが行き交う公共交通の充実	主な財源	使用料	市営バス乗車料	2,097千円
目的	丹海バス路線と競合しない地域において、生活の足として必要な市営の路線バスを運行し、地域の生活交通を維持・確保する。		府補	市町村運行確保生活路線維持費補助金（1/2）	1,728千円
			繰入金	ふるさと応援基金繰入金	5,000千円

主要な事務・事業の概要	○運行委託料		9,536千円		〔参考〕路線別の乗車人数の推移						(単位：人)		
	路線別の委託金額 (単位：人、便/日(通常期平日)、千円)												
	系統名	起点	主な経由地	終点	乗車人数	便数	委託金額	期間	弥栄延利線	佐濃北線	豊栄竹野線	宇川線	合計
	弥栄延利線	溝谷	延利・須川	溝谷	2,036	4	4,151	H27年10月~H28年9月	2,820	2,461	394	498	6,173
	佐濃北線	佐野丙	久美浜病院	久美浜駅	2,896	7	3,340	H28年10月~H29年9月	2,798	3,058	374	421	6,651
	豊栄竹野線	三宅橋	間人診療所	間人	215	デマンド	2,045	H29年10月~H30年9月	3,410	3,358	255	290	7,313
	宇川線	鞍内	宇川温泉よし野の里	上山	140	デマンド		H30年10月~R元年9月	3,206	3,052	190	230	6,678
	合計				5,287		9,536	R元年10月~R2年9月	2,680	2,659	217	189	5,745
								R2年10月~R3年9月	2,036	2,896	215	140	5,287
	○運行管理経費（燃料費、光熱水費、修繕料、保険料）		4,265千円										
成果・課題	○民間の公共交通機関の維持確保が困難な地域における、住民の移動手段を確保するとともに、利便性の維持を図った。 ○新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が低調である。 ○運行の持続性を確保するための利用促進策や、住民の移動手段確保について、引き続き検討する必要がある。												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							200,926千円	237,982千円	37,056千円	84.4 %
	目	15 公共交通対策費										(参考)当初予算額
	事業	04 京都丹後鉄道利用促進対策事業										163,777千円
基本計画	15 ひとが行き交う公共交通の充実		主な財源	国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	50,500千円						
目的	京都府、兵庫県及び沿線市町が一体となり、京都丹後鉄道の安全・快適な運行の確保に対して支援するとともに、高齢者片道200円レール等により利用促進を図る。			府補	きょうと地域連携交付金（高齢者片道200円レール事業）	2,331千円						
				繰入金	地域振興基金繰入金	30,000千円						
				市債	京都丹後鉄道利用促進対策事業債（合併特例債）	42,500千円						
			市債	過疎地域持続的発展特別事業債（過疎対策債）	63,100千円							
主要な事務・事業の概要	【丹後2市2町で連携して支援】（利用促進）		○京都丹後鉄道運行支援事業費補助金		50,905千円							
	○高齢者片道200円レール事業委託料 4,860千円 （65歳以上の2市2町在住者は、片道200円で普通・快速列車の利用が可能） 乗車実績：10,395人（参考：2市2町合計：25,585人）		新型コロナウイルス感染症の影響による運輸収入の減少等への支援									
	○高齢者片道200円レール広報チラシ印刷費 134千円		・京都府域市町分 175,711千円×28.971%									
	【京都府・兵庫県及び沿線市町が連携して支援】（運行維持整備）		※市町・府県の合計額 371,984千円									
○鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 38,490千円 鉄道事業の保安度の向上のため、車両設備の整備に要する経費を補助		○京都丹後鉄道利用促進協議会負担金		150千円								
・京都府域宮津線（宮舞線・宮豊線）沿線市町分 93,061千円×41.36%		<table border="1"> <tr> <td>参考</td> <td>繰越明許費を除いた最終予算額</td> <td>201,025千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実質的な予算執行率</td> <td>99.9 %</td> </tr> </table>		参考	繰越明許費を除いた最終予算額	201,025千円		実質的な予算執行率	99.9 %			
参考	繰越明許費を除いた最終予算額			201,025千円								
	実質的な予算執行率	99.9 %										
※市町・府県・国補助金の合計額 472,368千円		■令和4年度への繰越事業										
○北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金 100,081千円 宮福線・宮津線に係る基盤部分（線路・電路・車両）の維持管理等経費を補助		・鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金		36,957千円								
・京都府域市町分 345,453千円×28.971%		※令和5年3月完了予定										
※市町・府県・国補助金の合計額 727,689千円		<b>成果・課題</b> ○京都丹後鉄道の施設所有会社である北近畿タンゴ鉄道㈱に補助金を交付し、同鉄道の運行を支援することができた。 ○新型コロナウイルス感染症の影響による運輸収入の減少に伴い経営に甚大な影響を受けているWILLER TRAINS㈱に対して沿線自治体で協調して支援することで、鉄道の維持を図った。 ○高齢者片道200円レールを実施することにより、鉄道の利用促進を図ったが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者は低調であった。 ○開業以来約90年が経過し、施設等が老朽化するなど、同鉄道を取り巻く環境は厳しく、継続した支援が必要である。										
○北近畿タンゴ鉄道支援費基盤整備補助金 6,306千円 老朽化した西舞鶴駅の軽油地下タンク及び給油設備の更新に係る経費を補助												
・京都府域宮津線（宮舞線・宮豊線）沿線市町分 15,246千円×41.36%												
※市町・府県・国補助金の合計額 45,000千円												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							64,690千円	78,837千円	14,147千円	82.0%
	目	15 公共交通対策費										(参考) 繰越予算額
	事業	04 京都丹後鉄道利用促進対策事業(繰越)										78,837千円
課	政策企画課	市債		京都丹後鉄道利用促進対策事業債(合併特例債)		56,600千円						
基本計画	15 ひとが行き交う公共交通の充実		主な財源									
目的	京都府、兵庫県及び沿線市町が一体となり、京都丹後鉄道の安全・快適な運行の確保に対して支援する。											
主要な事務・事業の概要	○鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 23,693千円 鉄道事業の保安度の向上のため、線路設備・信号保安設備等の整備に要する経費を補助した。 ・京都府域宮津線沿線市町分 57,285千円×41.36% ※市町・府県・国補助金の合計額 245,785千円											
	○北近畿タンゴ鉄道基盤強化補助金 40,997千円 ポストコロナにおける京都丹後鉄道の維持・強化のため、軌道修繕・車発機の導入・車両改良等の整備に要する経費を補助した。 【軌道修繕、防護無線分】 ・京都府域宮津線沿線市町分 75,025千円×41.36% 31,030千円 ※市町・府県の合計額 162,850千円 【車発機、車両改良分】 ・京都府域宮津線沿線市町分 34,628千円×28.783% 9,967千円 ※市町・府県の合計額 73,309千円			成果・課題	○鉄道輸送の安全確保及び利用環境改善のため、施設所有会社である北近畿タンゴ鉄道(株)に補助金を交付し、同鉄道の運行を支援した。 ○軌道修繕・車発機の導入・車両改良等の整備に要する費用を支援することで、旅客サービスの向上、メンテナンスコストの削減を図った。 ○開業以来約90年が経過し、施設等が老朽化し、災害も頻発する中、同鉄道を取り巻く環境は厳しいため、継続した支援が必要である。							

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室																																																							
	項	01 総務管理費							58,799千円	59,132千円	333千円	99.4 %																																																			
	目	15 公共交通対策費										(参考)当初予算額																																																			
	事業	05 駅舎等施設管理事業										59,737千円																																																			
課	政策企画課																																																														
基本計画	15 ひとが行き交う公共交通の充実		主な財源	使用料	公有財産使用料、京丹後大宮駅ふれあいホール使用料ほか		1,837千円																																																								
目的	市内7駅の維持管理を行うとともに、有人駅（6駅）において各種切符等を販売することにより、鉄道利用者の利便性向上及び鉄道利用促進を図る。			繰入金	地域振興基金繰入金		30,000千円																																																								
				負担金	駅舎維持管理費負担金		964千円																																																								
				手数料	乗車券類販売手数料		3,143千円																																																								
				諸収入	JICAカード-使用料、公衆電話料		53千円																																																								
			諸収入	市有建物損害賠償金		55千円																																																									
主要な事務・事業の概要	○市内7駅維持管理経費		58,799千円	(参考) 市内各駅乗車人数の推移 (単位：人)																																																											
	・燃料費、光熱水費		5,306千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th>駅名</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R元</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京丹後大宮</td> <td>53,456</td> <td>51,257</td> <td>45,337</td> <td>39,652</td> <td>35,549</td> </tr> <tr> <td>峰山</td> <td>104,974</td> <td>97,064</td> <td>102,689</td> <td>79,331</td> <td>89,569</td> </tr> <tr> <td>網野</td> <td>77,069</td> <td>73,425</td> <td>68,678</td> <td>52,432</td> <td>51,949</td> </tr> <tr> <td>夕日ヶ浦木津温泉</td> <td>45,302</td> <td>38,287</td> <td>39,261</td> <td>27,001</td> <td>23,302</td> </tr> <tr> <td>小天橋</td> <td>23,110</td> <td>24,410</td> <td>24,379</td> <td>20,127</td> <td>22,583</td> </tr> <tr> <td>かぶと山</td> <td>25,178</td> <td>26,104</td> <td>22,306</td> <td>17,830</td> <td>14,779</td> </tr> <tr> <td>久美浜</td> <td>34,277</td> <td>30,145</td> <td>28,245</td> <td>19,587</td> <td>22,502</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>363,366</td> <td>340,692</td> <td>330,895</td> <td>255,960</td> <td>260,233</td> </tr> </tbody> </table>						駅名	H29	H30	R元	R2	R3	京丹後大宮	53,456	51,257	45,337	39,652	35,549	峰山	104,974	97,064	102,689	79,331	89,569	網野	77,069	73,425	68,678	52,432	51,949	夕日ヶ浦木津温泉	45,302	38,287	39,261	27,001	23,302	小天橋	23,110	24,410	24,379	20,127	22,583	かぶと山	25,178	26,104	22,306	17,830	14,779	久美浜	34,277	30,145	28,245	19,587	22,502	合計	363,366	340,692	330,895	255,960	260,233
	駅名	H29	H30	R元	R2	R3																																																									
	京丹後大宮	53,456	51,257	45,337	39,652	35,549																																																									
	峰山	104,974	97,064	102,689	79,331	89,569																																																									
	網野	77,069	73,425	68,678	52,432	51,949																																																									
	夕日ヶ浦木津温泉	45,302	38,287	39,261	27,001	23,302																																																									
	小天橋	23,110	24,410	24,379	20,127	22,583																																																									
	かぶと山	25,178	26,104	22,306	17,830	14,779																																																									
	久美浜	34,277	30,145	28,245	19,587	22,502																																																									
合計	363,366	340,692	330,895	255,960	260,233																																																										
・修繕料（施設・設備の修繕）		630千円																																																													
・通信運搬費（電話代等）		325千円																																																													
・委託料（清掃、機械警備、券売、設備保守・管理等）		48,265千円																																																													
・土地借上料（駐輪場、駐車場等）		1,220千円																																																													
・会計年度任用職員任用経費（1人、週2日勤務）		1,043千円																																																													
・備品購入（AED購入）		1,571千円																																																													
・その他（消耗品費、ごみ持込手数料、火災保険料等）		439千円																																																													
			成果・課題																																																												
			<p>○駅舎の適正な維持管理及び有人駅での定期券や企画切符、JR線連絡切符等の窓口販売を行い、鉄道利用者の利便性の確保等を推進した。</p> <p>○観光案内や情報発信機能の強化、駅の利便性・快適性の向上とともに、駅周辺を含めたにぎわいづくりを推進する必要がある。</p>																																																												

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	市長公室				
	項	01 総務管理費							6,394千円	6,435千円	41千円	99.3 %
	目	15 公共交通対策費										(参考)当初予算額
	事業	50 交通対策一般経費										2,874千円
基本計画	15 ひとが行き交う公共交通の充実		国補	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	4,000千円							
目的	公共交通全般の利用促進及び公共交通確保対策業務に関する事務経費等					主な財源						
主要な事務・事業の概要	○公共交通ガイドブック印刷製本費（年2回発行、各27,000部）		1,966千円									
	○地域交通運行維持給付金		4,300千円									
	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により経営に深刻な影響を受けている市内の貸切バス、タクシー事業者に対して事業専用車両の維持管理を支援した。</p> <p>給付額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>バス車両（80千円×40台×1回）</li> <li>タクシー車両（50千円×22台×1回）</li> </ul>		3,200千円 1,100千円									
	○山陰新幹線京都府北部ルート誘致・鉄道高速化整備促進同盟会負担金		25千円									
	<ul style="list-style-type: none"> <li>山陰新幹線の実現や既存の鉄道高速化に向けた要望活動等を実施</li> </ul>											
○山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議負担金		50千円	成果・課題	<p>○公共交通ガイドブックを全戸配付することにより、公共交通の利用促進を図った。</p> <p>○山陰縦貫・超高速鉄道整備推進市町村会議等については、引き続き関係自治体等と連携し、日本海側の高速鉄道の整備実現に向けた取組を進めていく必要がある。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症対策として、市内の貸切バス・タクシー事業者に補助金を交付し、地域交通の維持、市民・観光客の移動手段を確保した。</p>								
○事務費（職員旅費、新聞折込手数料、有料道路通行料）		53千円										

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 2,463千円	最終予算額 2,470千円	不用額 7千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				99.7%	
	目	02 商工振興費				(参考)当初予算額	
	事業	11 近未来技術地域導入促進事業【再掲】				3,067千円	
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		国補 地方創生推進交付金(1/2)			645千円	
目的	近未来時代の将来を見越したデジタル社会の啓発を図るとともに、先端技術を活用した事業活動を支援するため、市内事業者、市内関係団体等による京丹後DXを推進し、ICT技術を用いた近未来時代に対応した事業活動や市民活動を促進する。			主な財源			
主要な事務・事業の概要	○京丹後DX推進検討経費 369千円 市内海水浴場駐車場の混雑情報可視化や、ドローンを使用しての実証実験などについて、計3回の協議と2日間の現地視察を行った。 また、地元の観光協会・区・NPO法人と会議を行い、市内海水浴場の持つ課題共有と意見交換を行った。 ・アドバイザー謝金(費用弁償含む) 189千円 ・職員旅費 180千円			○異業種交流ビジネス支援補助金 909千円 織物業と機械金属業が協力し、先端技術を活用した新しい織物と織物技術を開発する取組を支援 補助率：2/3 限度額：1,000千円 交付先：丹後ものづくり産業共創プロジェクト推進協議会			
	○ODX事業実証等委託料 995千円 ・海水浴場駐車場混雑情報配信サービス 500千円 市内海水浴場開設者と連携して、駐車場周辺の混雑状況をWebサイトで可視化し、海水浴場周辺の交通渋滞の回避等について検証する実証事業を実施 実証期間：7月10日～8月22日 実施場所：海水浴場開設者が管理する市内21か所の駐車場 ・ドローン物流基礎調査 495千円 ドローンによる荷物配送の可能性と収益性などについて、調査・検討を行った。			○産官学デジタル化促進事業ワークショップ講師謝金 [政策企画課] 190千円 ICT・ビジネスの分野において高い専門性を有するiU情報経営イノベーション専門職大学の准教授を講師として招き、市内企業がDXに係るアプローチの理解を深めるとともに、身近な業務を効率化するための小さな実績も含むDXの実行計画を策定することを目的としたワークショップを開催 開催日：8月17日、18日(2社参加)			
成果・課題				○駐車場混雑情報配信については、URLを観光公社HPに公開し、約12万件のアクセスがあった。海水浴場駐車場では、混雑の解消や満車後の待機車両の減少といった効果があった。配信側は、専用の機械装置ボタンを使用しての実証であったため、スマートフォンやタブレットなどから情報配信できるようにするなど改善が必要である。 ○市内企業を対象としたワークショップでは、自社課題の整理・分析、QuickWin(比較的早期に結果が現れる取組)の洗い出しができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額 1,806千円	最終予算額 1,912千円	不用額 106千円	執行率	部 商工観光部
	項	01 商工費				94.4 %	
	目	05 観光振興費				(参考)当初予算額	
	事業	08 観光プロモーション推進事業【再掲】				5,211千円	
基本計画	04 滞在型観光・スポーツ観光の促進		国補 地方創生推進交付金(1/2)			140千円	課 観光振興課
目的	各種広報媒体の活用やイベントでのキャンペーン、広域観光団体との連携によるPR活動の展開等により、観光資源、観光情報を発信し、観光客誘致の促進を図る。			主な財源			
主要な事務・事業の概要	○誘客イベント等情報発信及び広告掲載等経費 286千円 ・FM京都(αステーション)広告(イベント告知:2回) 220千円 海水浴場開設情報×1回、活イカ情報×1回 ・わおマップ 広告掲載料 60千円 ・JAF観光登録システム利用料 6千円			○「ミニポートピア京丹後6周年記念競走」副賞経費【政策企画課】 31千円 ・優勝カップ、丹後コシヒカリ米 ※新型コロナウイルス感染症の影響により物産展は中止			
	○観光宣伝活動等事務経費 119千円 ・旅費、有料道路通行料等 24千円 ・キャンペーン景品、観光宣伝物品等 95千円			○広域観光団体負担金 1,370千円 ・(一社)豊岡観光イノベーション(豊岡DMO) 300千円 ・(公社)京都府観光連盟 390千円 ・北近畿広域観光連盟 580千円 ・(特非)ジャパン・フィルムコミッション 100千円			
成果・課題	○FM京都(αステーション)で、令和3年度から運用を開始した海水浴場駐車場混雑情報システムの案内と、活イカに関する放送を行い、システムの利用促進と誘客に向けたPRを実施することができた。 ○今もなお、コロナ禍が続くことを踏まえ、ウィズ・アフターコロナを見据えたプロモーションに取り組む必要がある。						

予算科目	款	11 災害復旧費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部					
	項	04 その他公共施設災害復旧費							4,079千円	4,382千円	303千円	93.0 %	
	目	01 その他公共施設災害復旧費											(参考)当初予算額
	事業	01 その他公共施設災害復旧事業【再掲】											
基本計画	01 地域の雇用・経済を担う商工業の振興		諸収入		市有建物損害共済金		798千円						
目的	令和3年8月に発生した台風9号及び落雷により被災した公共施設の早期復旧を図る。		主な財源										
主要な事務・事業の概要	○商工振興課所管施設												
	・ 京都工芸繊維大学京丹後キャンパスキュービクル修繕	1,127千円											
	・ 旧丹後商業活性化センター屋根瓦修繕	462千円											
	○網野市民局所管施設												
	・ 浜詰ビーチサイドブース屋根張替工事	614千円											
	・ 浜詰ビーチサイドブースサッシ及び雨樋修繕工事	409千円											
	○大宮市民局所管施設												
	・ プナハウス取水池土砂撤去、集水管復旧工事	178千円											
	○観光振興課所管施設												
	・ 小天橋海水浴場連絡所照明器具修繕	55千円											
	・ 宇川温泉よし野の里倒木、屋根瓦修繕工事	203千円											
	・ 道の駅てんきてんき丹後倒木撤去	169千円											
	・ はしうど荘屋根鋼板修繕工事	692千円											
	・ 森林公園スイス村倒木、ガラス修繕	170千円											
			成果・課題	被災した公共施設の早期復旧を図ることで、利用者等への影響を最小限にとどめることができました。									